

箕面ユネスコ協会 ニュースレター

発行 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
箕面ユネスコ協会事務局
〒562-0013 箕面市坊島 4-5-20
みのおキューズモール2Fみのお市民活動
センター内 箕面ユネスコ協会 (メルマガ)
E-mail sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp



- ◆ 目次 ◆
○ 活動報告
○ お知らせ

♪ ホームページ折々に更新中！
「箕面ユネスコ協会」
で検索してください♡

●2018年 近畿ブロックユネスコ研究大会 in 彦根に参加しました

—2019年は大阪府にて開催 ひこにやんから大阪ゆめ丸くんへバトンが引き継がれました—

10月27日と28日の2日間開催されました。1日目は、彦根ユネスコ協会活動事例発表、基調講演は井伊直岳さんの「彦根藩の明治維新」と、中井均滋賀県立大学教授による「彦根城の魅力—文化財を未来に伝える—」。その後、お二人の対談がありました。2日目は、小和田哲男静岡大学名誉教授による記念講演が行われました。来年2019年はin大阪府です。10月5日、堺市総合福祉会館で開催します。



●災害支援 第3回 岡山県倉敷市真備町でのボランティア

11月4日(日)に、西日本を中心とした豪雨で大規模被害にあった岡山県倉敷市真備町で、箕面ユネスコ主催の災害支援ボランティアを行いました。前回に引き続き、箕面アサンプション国際高校、北摂つばさ高校、青山大学で学ぶ生徒・学生のみなさんの参加がありました。岡山県倉敷市では、ボランティア不足が深刻になっています。細く長い支援を私たちはめざしています。次回は12月23日に実施します。多くの皆様のご参加お待ちしております。申し込みはHPをご覧ください。



箕面ユネスコ協会版 ESD を紹介させていただきます

●箕面市立南小学校 6年生●

～伝える・つながる・創る「防災」～



ころ」をつかい、「じかん」をつかっていこう”と語りかけて下さいました。中学生のお兄さんお姉さんが活動で大切にしていることの意味を、改めて考えた子どもたちです。笑顔と学びがいっぱいの素敵な時間になりました。

11月14日に、南小学校6年生の子どもたちが大阪市立鶴見橋中学校を訪問しました。10月3日に南小を訪れ「ボランティア活動を通して考えた‘いのち’の大切さ」について話して下さいました3人の中学生との再会です。

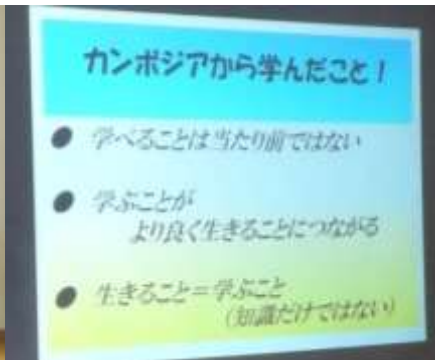
人権防災教育担当の川島先生は、医師日野原重明氏の絵本と言葉を紹介し、“ただ生きるのではなく、自分以外のために「こ



●箕面市立豊川北小学校 5年生●

～出会って学ぼう！～

10月より、総合学習「出会って学ぼう！」に協働させていただいています。世界にある課題について知ることを通して自分たちの日々を振り返ってほしい、よりよい社会づくりのために自分たちにできることを考え小さな一歩を踏み出してほしい、と願っての活動です。



10月3日には、川本さん（春日丘高校）に、日本ユネスコ協会連盟のスタディーツアーで訪れた‘カンボジアの今’について話していただきました。貧しさから学べなくなった子どもたちやおとなたちが寺子屋に通う様子について、とても分かりやすく丁寧に話してくださり、子どもたちからの質

問にも、高校生らしく明るく生き生きと答えてくださいました。その後、子どもたちは4つのグループに分かれ、活動を続けています。

（大濱 淳子）



♪寄せ書きプレゼントグループ
クメール語や英語の言葉も！



♪リーフレットコンクールグループ
PCを駆使して作成します



♪うちわプレゼントグループ
イラストや漢字などでデザイン



っ
ラ
♪クメールカレーグループ
現地の味に近づけて

1月12日、豊川北小学校の子どもたちとクメールカレー（カンボジアのカレー）作りをしました。子どもたちは、材料を切るところから全行程を、自分たちで一生懸命がんばりました。

日本ではカレールーやカレー粉を使って作ることが多いのですが、今回はそれらを使いません。レモングラス、チリ、ガラムマサラ、ココナッツミルク等を使って作るクメールカレーに興味津々の様子でした。出来上がったカレーは、別の教室で『カンボジアについて』の取り組みをしているクスマートのところへ届けられました。空になった鍋を手にして帰ってきた子どもたちから「にんじんやじゃがいもの味が、いつもよりよくわかった」「お母さんに作り方を教えてあげよう」「家でも作ってみたい」などの声が聞こえてきました。食を通してより一層カンボジアに親しみを感じた時間となりました。

（前田 ひとみ）

●枚方市立菅原東小学校 3年生●

～大切な‘いのち’～



地への思いを深めた子どもたちは、音楽発表会で「かぜのでんわ」をオペレッタで表現したそうです。子どもたちの学びは、保護者や地域のみなさんにしっかり伝わったことと思います。

（大濱 淳子）

10月9日11日に、菅原東小の子どもたちと出会いました。東日本大震災の被害の様子や被災地の方々が願っておられること等の話を熱心に聞いてくれた3年生のみなさん。

坂口会長からは、岩手県大槌町にある「風の電話」について自身の経験をもとに伝えました。

この出会いをもとに、映像や絵本などで被災



●箕面ユネスコ協会 ～東日本大震災を忘れない～ 被災地を訪ねて



11月16日17日に、箕面ユネスコ協会坂口会長をはじめ9名の会員は、東日本大震災の被害を受けた宮城県と福島県を訪問しました。発足時から「東日本大震災を忘れない」を合言葉に支援活動をしており、その一環として昨年に引き続き2回目のスタディーツアーです。

仙台空港に降り立つ、ここも被災地。空港ビルは中二階まで浸水し津波の高さを示す看板を見上げて、私の身長の数倍の高さに驚きと恐怖が入り混じりました。レンタカーに乗り込み、石巻をめざして一路、北へ。

石巻市立大川小学校旧校舎… 被災した校舎は震災遺構として保存が決まり、当時のままの姿に言葉を失いました。傍らには慰霊碑の母子像が設置されており、一同そっと手を合わせました。今も亡くなった人を慰霊するために、全国から多くの方が訪れているそうです。当日も訪れていた一団と遭遇し、大川小学校での津波被害を語り続けている「大川伝承の会」語り部の方のお話を一緒にお聞きしました。ご遺族の一人と知り、思い出すのもつらい記憶だと思いますが、それでも二度と悲劇が起きてほしくないと語り続ける姿に胸を打たれました。あの時、難を逃れたテツヤ君が今年から語り部の一員となり共に活動しているそうです。



もう一度手を合わせた後、気仙沼をめざして、さらに北へ。夕闇に包まれた気仙沼に到着。港からフェリーで気仙沼・大島へ移動。家も船も流され養殖場も壊滅的被害を受けたヤマヨ水産の小松さんを訪問し、養殖事業復興のこと、大島架橋事業にも尽力されていることなどお伺いしました。ご家族の皆様とも再会し、お元気な様子に安堵しました。今晚お世話になる旅館・海鳳へ。たくさんの海の幸と女将さんの温かいおもてなしに旅の疲れも癒されました。翌朝、女将さんと再会を約束し固い

握手。実は、坂口会長は次週も来訪予定です。フェリー乗船中も下船後も大勢の方々とは挨拶を交わす坂口会長、数知れず現地に足を運び生まれた絆です。17日は南三陸町の南三陸さんさん商店街から。仮設から常設店舗での営業が始まり、昨年は震災前を上回る140万人が来場したそうです。これからの課題は、住居や公共施設が高台に移転し整地が終わり、周辺は空地で、今までは勢いでやってきたが本当はこれから。「また来たいと思ってもらえる地域の魅力を発信していきたい」と。商店街の裏手からは遠くに震災遺構として保存が決まった防災庁舎が…。一同、手を合わせました。

福島県をめざして一路、南へ。南相馬市小高区…ここは東京電力福島第一原子力発電所から20km圏内に位置し、事故直後から域内の全住民が避難生活を余儀なくされ、避難指示が解除されたのは平成28年7月でした。住民交流スペース「おだかぷらっとほーむ」を運営する「小高を応援する会3B+1」の廣畑裕子さんにお聞きしました。小高の街に人がいて明かりがともる小高の風景になりたいという思いから始められたそうです。1万3千人の住民がゼロになり、それが今では3千人に。小高を愛する人が帰還して着実に増えていること、笑顔で暮らしていきたいという力強い言葉が印象的でした。2日間の走行距離は660キロ、東北の被災地を回って、東日本大震災から7年半が過ぎても復興への道のりの厳しさを感じました。今でも多くの方々が苦しみ続けているという現実を忘れず、今後も継続して支援活動をしていきたいと思えます。

(大槻 晴美)

● 2018 東日本大震災義援活動を

〈箕面市人権啓発推進協議会〉



11月23日(金)・24日(土)・25日(日)5回目となる東日本大震災義援活動のコーディネーターとして福島県双葉郡浪江町、南相馬市、宮城県気仙沼市を訪れました。福島県南相馬小高区では「双葉屋旅館」を訪ねました。小高駅前にあり、震災後誰もいなくなった駅前のロータリーに花を植え続け、旅館の再建だけでなく小高を元気にするため町のために尽力されている女将や「おだかぷらっとほーむ」小高を応援する会廣畑裕子さんの話聞くことが出来ました。宮城県気仙沼市では気仙沼湾にある大島、牡蠣の養殖を再建した、小松武さんや民宿「海鳳」の女将さんと交流することができました。

(坂口 一美)

講演会&気仙沼の食材とお酒を楽しむ会!

2018年2月2日(土曜日)【講演会】「3.11を忘れない」16時30分～

らいとびあ21

【食を楽しむ会】17時45分～



東北の珍味や新鮮な魚介類を食べながら、楽しい美味しい交流会を開催いたします。是非多くの方々のご参加をお待ちしております。

食材の準備の関係で、参加申し込みをお願いいたします。締め切り 1/24

電話 090-4768-5145 sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp